

教育・人材育成

事業名	予算額(万円)	内容
1. 統合学校整備	3億3095	大原小学校、大東中学校区統合小学校
2. 図書館・体育施設等の移転	1億2590	一関図書館基本設計、青葉テニスコート実施設計等、一関水泳プール実施設計、弥栄公民館移転改修
3. ことばを大切に教育・読書普及	1397	読書普及員、ことばの力を育てる指導員、図書整理員の配置
4. キャリア教育の推進	223	中学生の社会体験学習、夢の教室開催
5. 特別支援教育	3007	学校サポーター、きめ細かな指導支援員の配置
6. 一関中学校武道場建設	9011	武道場の改築整備

保健・福祉・医療の連携強化

1. 妊婦健康診査	8892	妊婦健診・子宮頸がん検診の(委託)実施、超音波検査など公費負担の対象拡大
2. (私立) 保育園整備事業費補助金	1億4393	幸町保育園改築、桜保育園改修に対する補助
3. 家庭児童相談室の運営	759	相談件数の増加に対応するため相談員を増員
4. 障がい者相談支援事業	2102	大東地域に障がい者の相談支援窓口を新規設置
5. かるがも教室(早期療育事業)の運営	1495	現在の一関教室に加えて千厩教室を新規設置
6. 地域医療確保対策費補助金	150	看護師・准看護師養成専門学校への補助金を増額
7. 小児成人救急医療対策	1176	市内33医療機関の東西2輪番体制による夜間の初期救急患者の医療確保

地域コミュニティの自立支援

1. いちのせき元気な地域づくり事業	4024	地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色のある地域づくりのための事業を実施
2. 地域おこし事業・自治会等活動費総合補助金	1億 300	地域や民間が取り組む人材おこしや産業おこし等の事業・自治会活動に対する助成等
3. 協働によるまちづくりの推進	6976	市民活動推進事業、地域間交流事業、協働でつくるきれいなまち推進事業、一関地方グリーン・ツーリズム推進事業、地域資源活用交流施設整備事業補助金、花の駅整備、ワークショップ等の開催
4. まつりや地域イベント等に対する支援	3461	各地域の夏まつり開催事業負担金、室根大祭協賛会補助金、唐梅館絵巻実行委員会補助金、一関春まつり開催事業補助金、水かけ祭り保存会事業費補助金 等
5. 伝統文化の保存・継承	168	各地域に根ざした指定文化財の保存活動等に対する助成

環境対策

1. 新エネルギー等導入事業費補助金	350	住宅用太陽光発電システムの設置経費に対し1kWあたり1万円を助成
2. 省エネルギービジョン策定	598	省エネルギー施策推進に向けた計画を策定
3. 防犯灯のLED化	4855	市設置防犯灯の一部をLED化
4. 資源リサイクル事業	1107	自治会やPTA等による集団回収により、地域ぐるみの資源リサイクル活動を促進
5. 地球温暖化対策・環境教育の推進	85	地球温暖化に関する啓発事業、エコ友チャレンジ事業
6. 下水道・浄化槽整備	19億3082	公共下水道整備事業、浄化槽整備事業、浄化槽の設置に対する助成

内陸地震からの復興と教訓を生かしたまちづくり

1. 岩手・宮城内陸地震完全復興事業	4172	「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの完全復興に向けた各種事業を実施(国道342号開通記念産直市開催事業 等)
2. 防災拠点施設の整備	4億6579	東消防署移転改築、南消防署建築設計等
3. 防災情報提供システム整備	3780	花泉地域にイントラネットを活用した防災情報提供システムを整備
4. 学校施設耐震化	7億3041	川崎中学校校舎、萩荘中学校屋体の改築、小学校3校・中学校4校の校舎等の耐震補強工事、小学校3校・中学校2校の校舎等の耐震補強実施設計
5. (私立) 保育園・幼稚園耐震診断事業費補助金	800	私立の保育園・幼稚園が行う耐震診断に対する助成
6. 木造住宅の耐震診断・耐震改修工事助成	3203	昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断を実施し、危険な住宅に対して改修費を助成

平泉文化遺産の世界遺産登録に向けた支援

1. 「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた支援	201	平泉の世界遺産登録祈念事業補助金、御当地ナンバー導入研究、平泉町への職員派遣
2. 骨寺村荘園遺跡の追加登録に向けた取り組み	3億5457	骨寺村荘園地区整備事業、県営景観保全農地整備事業負担金、伝統的水路等保全事業、資源保全管理推進事業(景観保全、維持作業に係るワークショップなど)、文化的景観保全事業(国の選定を受けた重要建物の修理修景)など



合併協議会設置の協定書に署名後、握手を交わす勝部市長(左)と畠山町長

合併協議

藤沢町と法定協議会設置

本市と藤沢町は4月1日、地方自治法などに基づいて合併を協議する「関市・藤沢町合併協議会」を設置しました。協議会は9月中をめどに新市基本計画の作成や合併に関する協議を行い、その後住民懇談会を開催して合併後の姿を示し、住民合意を図っていく予定です。

市役所本庁で開かれた設立会議には、勝部市長と畠山博藤沢町長が出席。勝部市長を議長に選出し、協議会設置に関する▽協定▽規約▽各種規程▽事業計画▽歳入歳出予算―などを協議し、原案どおり決定しました。会長には勝部市長を、副会長には畠山町長を選任しました。規約では、協議会の所掌事務を▽合併に関する協議▽新市基本計画の作成▽そのほか合併に関し必要な事項―としたほか、委員の構成、幹事会および専門部会、事務局、経費の負担―など

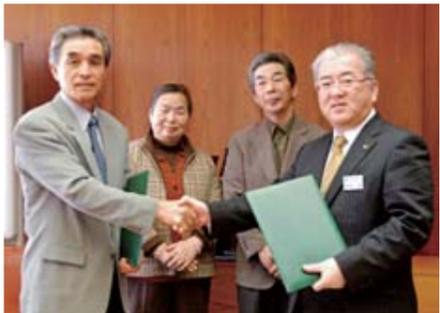
について定められました。協議終了後、両市町長は設置協定書に調印。会長の勝部市長は「本格的な合併協議がスタートする。両市町が抱えている課題の共通理解を図り、一つ一つ手順を踏んで進めてまいりたい」とあいさつしました。協議会を構成する委員は▽会長以外の首長▽副市長および副町長▽議会が選出する議員各2人▽学識経験者12人―の19人で

構成。協議会に提案する事項を協議する幹事会には副市町長、企画担当および財政担当部課長、本市の部等の長で構成されます。本市と藤沢町は昨年6月、「一関市・藤沢町合併研究会」を設置し、合併についての調査研究を開始。今年2月の住民懇談会実施後、法定協議会の設置について両市町の議会での議決をしたところです。

◎問い合わせ先
一関市・藤沢町合併協議会事務局 ☎ 28730

環境美化

南沢部落自治会と協定



石川自治会長(左)と固く握手を交わす勝部市長(右)

市は3月19日、萩荘の南沢部落自治会(石川浩会長)とアダプトプログラム協定を締結しました。アダプトとは英語で「養子にする」の意味。協定は市道萩荘南沢線の一部、延長約2.4kmの区間について、同自治会が▽散乱ごみの収集▽除草▽草花などの管理▽不法投棄などの情報提供▽ガードレールなどの清掃―などをを行い、市が▽活動に必要な資材の提供▽アダプトサイン

(看板)の交付▽活動中の災害の補償―を行うという内容です。協定締結後、勝部市長と石川会長は固く握手を交わし、「アダプト協定という言葉が定着するよう取り組みを進めたい」他の地域の模範となるよう取り組んでいきたい」とそれぞれ述べました。宮城県境に近い山あいに位置し、不法投棄が絶えなかった南沢地区。これまで自主的に清掃を行ってききましたが、このたび不法投棄の根絶を目指して、市と協働で美化を進めようとしているものです。

保育施設

京津畑保育園を閉園



47年の歴史を閉じた京津畑保育園

山間地での保育を担ってきた大東町の京津畑保育園が3月13日、閉園しました。昭和38年2月にへき地保育所として開設されて以来、167人の子供たちを送り出しました。19年4月、在園児が2人となったことから、現在まで休園していました。閉園式は地域住民ら約30人が出席。最後の園長を務めた小山耕一さんが勝部市長に看板を返納し、47年の幕を閉じました。